

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年9月20日(2018.9.20)

【公開番号】特開2017-46244(P2017-46244A)

【公開日】平成29年3月2日(2017.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-009

【出願番号】特願2015-168295(P2015-168295)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

G 0 6 F 12/00 5 2 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月8日(2018.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ファイルを送信するファイル送信装置であって、
 前記ファイルに付加情報を含むファイル名を付けるか、前記ファイルに付加情報を含まないファイル名を付けるかを選択する選択手段と、
 前記選択手段による選択に基づいて、前記ファイルにファイル名を設定する設定手段と、
 、
 前記設定手段によって前記ファイル名が設定された前記ファイルを送信する送信手段と、
 、
 前記ファイルの送信先に記憶されたファイルを当該ファイルと同じファイル名のファイルで上書きするか否かを指定する指定手段と、
 前記選択手段による選択に基づいて、前記指定手段による指定を可能とする制御手段とを有することを特徴とするファイル送信装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記選択手段によって前記ファイルに付加情報を含むファイル名を付けるよう選択された場合に、前記指定手段による指定をできないようにすることを特徴とする請求項 1 に記載のファイル送信装置。

【請求項 3】

操作画面を表示する表示手段をさらに有し、
 前記指定手段は、前記操作画面に表示されるキーであり、
 前記制御手段は、前記選択手段によって前記ファイルに付加情報を含むファイル名を付けるよう選択された場合に、前記キーを前記操作画面に表示しないよう前記表示手段を制御することを特徴とする請求項 2 に記載のファイル送信装置。

【請求項 4】

操作画面を表示する表示手段をさらに有し、
 前記指定手段は、前記操作画面に表示されるキーであり、
 前記制御手段は、前記選択手段によって前記ファイルに付加情報を含むファイル名を付けるよう選択された場合に、前記キーを選択できないよう制御することを特徴とする請求

項 2 に記載のファイル送信装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記選択手段によって前記ファイルに付加情報を含まないファイル名を付けるよう選択された場合に、前記指定手段による指定を可能とすることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のファイル送信装置。

【請求項 6】

前記指定手段によって前記ファイルの送信先に記憶されたファイルを当該ファイルと同じファイル名のファイルで上書きしないよう指定された場合に、前記選択手段によって前記ファイルに付加情報を含まないファイル名を付けるよう選択されていても、前記ファイルの送信先に記憶されたファイルを当該ファイルと同じファイル名のファイルが存在すれば、前記設定手段は、前記選択手段によって前記ファイルに付加情報を含むファイル名を設定することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のファイル送信装置。

【請求項 7】

操作画面を表示する表示手段をさらに有し、

前記指定手段は、前記操作画面に表示されるキーであり、

前記制御手段は、前記選択手段によって前記ファイルに付加情報を含むファイル名を付けるよう選択された場合に、前記キーを前記操作画面に表示するよう前記表示手段を制御することを特徴とする請求項 6 に記載のファイル送信装置。

【請求項 8】

操作画面を表示する表示手段をさらに有し、

前記指定手段は、前記操作画面に表示されるキーであり、

前記制御手段は、前記選択手段によって前記ファイルに付加情報を含むファイル名を付けるよう選択された場合に、前記キーを選択できるように制御することを特徴とする請求項 6 に記載のファイル送信装置。

【請求項 9】

ファイルを送信するファイル送信装置であって、

ユーザからファイル名を受け付ける受付手段と、

前記ファイルに前記受付手段によって受け付けたファイル名を設定する設定手段と、

前記設定手段によって前記ファイル名が設定された前記ファイルを送信する送信手段と

、

前記受付手段によって受け付けたファイル名に特定の文字列が含まれるか否かを判定する判定手段と、

前記ファイルの送信先に記憶されたファイルを当該ファイルと同じファイル名のファイルで上書きするか否かを指定する指定手段と、

前記判定手段による判定に基づいて、前記指定手段による指定を可能とする制御手段とを有することを特徴とするファイル送信装置。

【請求項 10】

原稿の画像を読み取る読取手段と、

前記読取手段によって読み取られた原稿の画像を示す画像データをファイルに変換する変換手段とを有し、

前記送信手段は、前記変換手段によって変換されたファイルを送信することを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載のファイル送信装置。

【請求項 11】

前記付加情報は、時間を示す情報、またはシリアル番号であることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載のファイル送信装置。

【請求項 12】

ファイルを送信するファイル送信装置における制御方法であって、

前記ファイルに付加情報を含むファイル名を付けるか、前記ファイルに付加情報を含まないファイル名を付けるかを選択する選択工程と、

前記選択工程における選択に基づいて、前記ファイルにファイル名を設定する設定工程

と、

前記設定工程における前記ファイル名が設定された前記ファイルを送信する送信工程と

、

前記ファイルの送信先に記憶されたファイルを当該ファイルと同じファイル名のファイルで上書きするか否かを指定する指定工程と、

前記選択工程による選択に基づいて、前記指定工程における指定を可能とする制御工程とを有することを特徴とする制御方法。

【請求項 13】

送信されるファイルに付加情報を含むファイル名を付けるか、前記ファイルに付加情報を含まないファイル名を付けるかを選択する選択工程と、

前記選択工程における選択に基づいて、前記ファイルにファイル名を設定する設定工程と、

、

前記設定工程における前記ファイル名が設定された前記ファイルを送信する送信工程と

、

前記ファイルの送信先に記憶されたファイルを当該ファイルと同じファイル名のファイルで上書きするか否かを指定する指定工程と、

前記選択工程による選択に基づいて、前記指定工程における指定を可能とする制御工程とをコンピュータに実行させるためのプログラム。